

研究主題

学び合い育ち合う ～ Touch the heart ～

令和2年度 羽咋市立栗ノ保小学校PTA

1. 主題の設定



研究仮説

より良い保護者・先生であるために自ら学びや研修に励むことができれば、子の成長に良い影響を及ぼすのではないか。

➤ PTAとは「社会教育団体」であるとともに、成人教育の場である

※日本PTA全国協議会「はじめましてPTA」による

➤ 主題にある「学び合い」の主体である保護者や教師の研修が子供の「育ち合い」につながってほしいという願い。

新たな課題

コロナ禍においても、家庭・学校・地域をつなげるためにはどのようにすればよいか。

- 新型コロナウイルスの流行に伴い、学校の臨時休業が余儀なくされ、PTA活動も大きく制限された。
- この課題を通して、PTA活動を見直すきっかけとする。
- 副題の「Touch the heart」には、現在、コロナ対策のために、簡単に手と手が触れ合えない状況下であるからこそ、家庭・学校・地域で心と心が触れ合うような活動を見出していきたいという願いを込めた。

2. 研究实践



(1) オンライン等を活用した保護者研修

<3つの課題>

- テーマをどのように設定すればよいか。
- 継続的に学び合うにはどのようにすればよいか。
- コロナ対策等によりPTAの活動が制限された中で、保護者による研修を行うにはどのようにすればよいか。

(1) オンライン等を活用した保護者研修

<3つの課題>

- テーマをどのように設定すればよいか。

4月当初のPTA役員同士の話し合い



子育てについて多くの悩みがあり、それぞれ特に誰かに相談するわけでもなく、それぞれの家庭で自己流の方法を取っているという事実認識



「子どものやる気と親のかかわり方」については、どの親にとっても共通の悩み

(1) オンライン等を活用した保護者研修

<3つの課題>

- 継続的に学び合うにはどのようにすればよいか。



講師を招聘した学習会



動画コンテンツの活用
した気軽な学習会

(1) オンライン等を活用した保護者研修

<3つの課題>

- コロナ対策等によりPTAの活動が制限された中で、保護者による研修を行うにはどのようにすればよいか。

Lineグループの作成



動画コンテンツの共有



意見交換

(1) オンライン等を活用した保護者研修

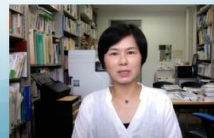
<3つの課題>

- コロナ対策等によりPTAの活動が制限された中で、保護者による研修を行うにはどのようにすればよいか。

2020.9.25
羽咋市立粟ノ保小学校 PTA講演会

子どものやる気を高める
親の関わり方

荒木 友希子
(金沢大学 人間科学系)



スライドにナレーションを入れ事前収録した動画と、オンライン会議システムによる質疑応答という金沢大学からライブ配信を併用

(1) オンライン等を活用した保護者研修

＜全保護者を対象に広げた研修会＞

日 時：9月25日(金)授業参観後の6限目

テーマ：「子どものやる気と親のかかわり方」

講 師：金沢大学人文学類心理学コースの荒木准教授

保護者アンケート
(1回目)

保護者研修会
9月25日(金)

声かけチャレンジ
(7日間)

保護者アンケート
(2回目)

保護者アンケート 1回目 (実施期間：9月18日(金)から9月24日(木)まで)

フォーム「保護者アンケート 1回目 (実施期間：9月18日(金)から9月24日(木)まで)」の回答の受け付けは終了しました。間違っていると思われる場合は、フォームのオーナーにお問い合わせください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム



R2 保小 PTA 親が変われば、子ども変わる！
子育て声かけチャレンジ活動カード

養い上手 … ボジティブな声かけ(例：ありがとう、助かるわ、お褒めね、よくがんばっているね)
整え上手 … 子どもが勉強に集中しやすい状況を作る(例：勉強している時はテレビを消す)
伝え上手 … 子どもに伝えるときは、「わたしメッセージ」で親の考えや気持ちを伝える
聴き上手 … 子どもが話をするときには、親は子どもの目をよく見て、うなずきながら、聴く

	養い上手	整え上手	伝え上手	聴き上手	提出日
9/26(土)					
9/27(日)					
9/28(月)					
9/29(火)					
9/30(水)					
10/1(木)					
10/2(金)					

上の活動が終了しましたら、右のQRコードを読み取り、リンク先に表示される、「保護者アンケート(2回目)」にご回答ください。
その際、保護者アンケート(1回目)と同じ認証番号が必要になります。

10/3~10/9

提出 ①活動カード(このプリント) ②提出確認の印票(切り取り線で切る)

認証番号記入欄

保護者アンケート(1回目) 2回目(養育) 保護者参加人数記入欄

保護者アンケート 2回目 (実施期間：10月3日(土)から10月9日(金)まで)

フォーム「保護者アンケート 2回目 (実施期間：10月3日(土)から10月9日(金)まで)」の回答の受け付けは終了しました。間違っていると思われる場合は、フォームのオーナーにお問い合わせください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

(1) オンライン等を活用した保護者研修

＜全保護者を対象に広げた研修会＞

保護者アンケート

- 講演会を聞く前と講演会を聞いて声かけチャレンジ活動を行った後の2回実施
- アンケートは全30問程度で、2回とも同じ内容
- アンケートの依頼はPTA役員、作成・分析は荒木准教授の協力により実施

		そう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	少しそう思う	そう思う
1	人は、ほめられる事によって育つところが大きい	1	2	3	4	5
2	安易にほめるのは逆効果だ	1	2	3	4	5
3	小さなことでもいいから、ほめることが重要だ	1	2	3	4	5
4	外見など目につきやすいことは、ほめやすい	1	2	3	4	5
5	ほめることは、人間関係の潤滑油になる	1	2	3	4	5
6	目についた事は何でも、どんどんほめる方がいいと思う	1	2	3	4	5
7	ほめるためには、相手をよく知る必要がある	1	2	3	4	5
8	ほめるタイミングが一番むずかしい	1	2	3	4	5
9	ひんぼんにほめると、ウソっぼいと思われる	1	2	3	4	5
10	ほめるのは、照れくさい	1	2	3	4	5
11	周りと比較してすごいと思える事が、ほめるに値することだ	1	2	3	4	5
12	ほめても、その効果は一時的だと思う	1	2	3	4	5
13	結果が伴わない場合は、ほめてはいけないと思う	1	2	3	4	5

(1) オンライン等を活用した保護者研修

＜全保護者を対象に広げた研修会＞

声かけチャレンジ

- 講演会で荒木准教授から示された4つの〇〇上手の視点を生かした子供への声かけを7日間実施
- 毎日保護者自身が振り返り、カードに記録
- チャレンジ後、2回目のアンケートを実施し、前後の変容について調査

R2 粟ノ保小PTA 親が変われば、子ども変わる！ 子育て声かけチャレンジ活動カード

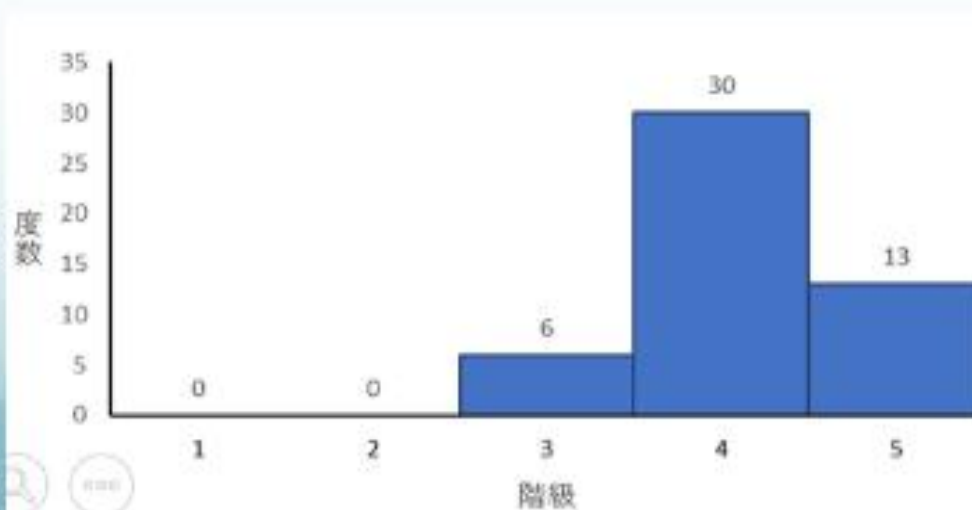
褒め上手 … ポジティブな声かけ(例:ありがとう、助かるわ、お疲れ様、よくがんばっているね)
整え上手 … 子どもが勉強に集中しやすい状況を作る(例:勉強している時はテレビを消す)
伝え上手 … 子どもに注意するときは、「わたしメッセージ」で親の考えや気持ちを伝える
聴き上手 … 子どもが話をするときは、親は子どもの目をよく見て、うなずきながら、聴く

	褒め上手	整え上手	伝え上手	聴き上手	保護者自身が「四つの〇〇上手」を意識して、一週間子どもと関わるチャレンジです。毎日のご自身を振り返り、〇△×の三段階で自己評価してください。大変ですが、頑張りましょう！
9/26 (土)					
9/27 (日)					
9/28 (月)					
9/29 (火)					
9/30 (水)					
10/1 (木)					
10/2 (金)					

結果：ほめの効果尺度

- 平均得点の度数分布の結果から、49名のうち、43名が効果があったと回答

→チャレンジ週間を通して、多くの保護者がほめることについてポジティブな効果を感じていた



- 1「まったく効果はなかった」
- 2「あまり効果はなかった」
- 3「どちらともいえない」
- 4「少し効果があった」
- 5「とても効果があった」

(→スライド22以降に本調査結果詳細を掲載)

(1) オンライン等を活用した保護者研修

＜全保護者を対象に広げた研修会＞

- 心理学的な視点が子育てにより良い影響を与えたことがわかるとともに、保護者が子育てについて高い意識をもって実践に取り組んだことがわかる。
- これらの実践を通して、「より良い保護者・先生であるために自ら学びや研修に励むことができれば、子の成長に良い影響を及ぼすのではないか」という仮説に迫り、より良い成果を生むことができた。
- このことから、次年度以降もPTA活動における保護者自身の研修の重要性を認識し、年間計画の中に十分に盛り込んでいくべきであるということが結論付けられる。

(2) コロナ禍における家庭・学校・地域の連携

- コロナウイルスの蔓延から、学校行事やPTAの活動が次々と延期や中止になり、児童の様々な経験の場が奪われるとともに、それらを通じた他の保護者や地域との関わりがもてないという状況が生まれた。
- この状況下においても、ハイタッチを家庭・学校・地域で取り入れていけば、マスクをしていて表情すらわかりにくくなってしまった中でも、つながりを深めることができるのではないかと考えた



手と手を接触させないハイタッチを広げる運動の実施

(2) コロナ禍における家庭・学校・地域の連携

- 栗ノ保小学校と連携し、六年生のアイデアから「awaタッチ」という愛称
- 毎朝親子でハイタッチを行ってから登校する「awaタッチA」を7月中旬の一週間行うチャレンジ週間を実施
- 取組後、児童と保護者を対象にアンケートを実施



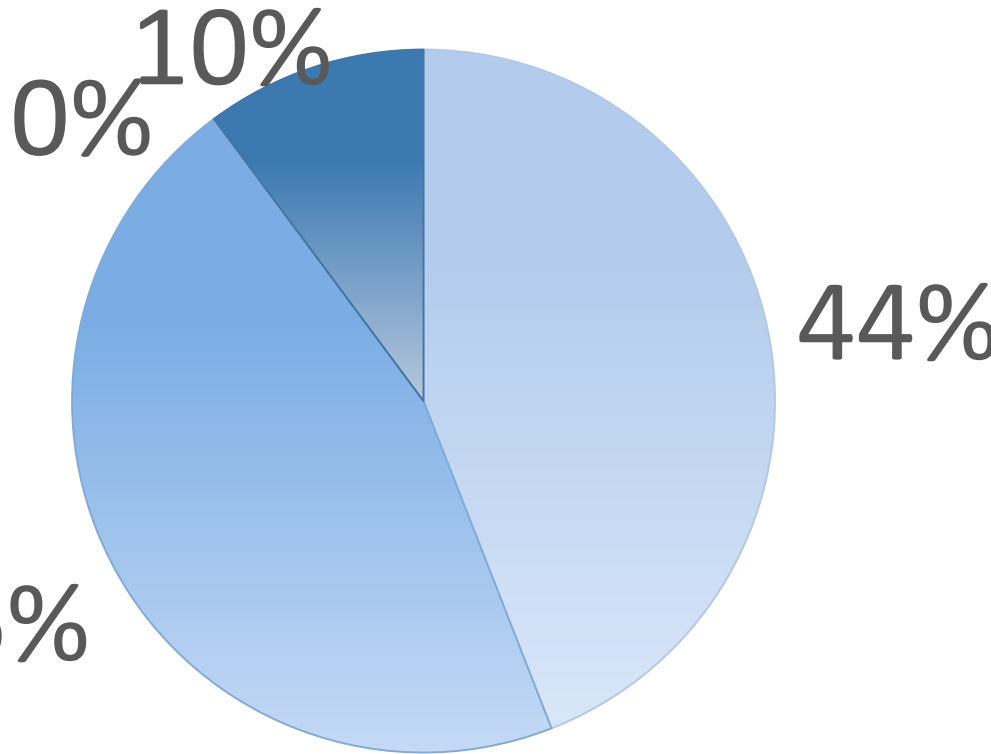
(2) コロナ禍における家庭・学校・地域の連携

awaタッチアンケート結果

awaタッチを取り入れてあいさつしてみたら、朝会う人にほとんどあいさつできたのでよかった。
(5年女児)

チャレンジ期間が終わった終末も、何気ない時や出かけていく時にしてくれて明るい「家族の輪」みたいな雰囲気良かったです。親としても元気にさせてくれて、ずっと続けていこうと思いました。
(4年保護者)

元気いっぱいでも、ムスツとしていて挨拶の返事が返ってこなくても手は挙げるというのが面白いと思いました。(1年保護者)



- とても良かった
- まあまあ良かった
- あまり良くなかった
- 無回答その他

(2) コロナ禍における家庭・学校・地域の連携

- 学校の先生や見守り隊の方々にも手と手を合わせないハイタッチ「awaタッチB・C」の協力を依頼したところ、「以前より子どもとの距離がとても縮まった」「以前より挨拶しやすい」という肯定的な感想が多く聞かれた。
- 今後も学校や地域と協力しながら、栗ノ保の「awaタッチ」が地域全体をつなげる挨拶になるようPTAとして取り組んでいきたい。



朝のラジオ体操 8/4



PTA奉仕作業 10/3



朝の交通安全運動 9/2

3. 研究を終えて



- 本研究を通して悩みを共有し、お互いをよく理解し合う中で、コロナ禍にもかかわらず、どうやったら研究を推進できるかと前向きに活動し、会員同士が深くつながりをもてたことは、我々の最大の収穫であった。
- まず第一にコロナ禍が収束し、子ども達の安心安全な生活ができる限り早く戻ってくることを願ってやまない。



子どものやる気と親のかかわり方

荒木 友希子(金沢大学 人間科学系)

羽咋市立栗ノ保小学校PTA

研究の目的

- 保護者が子どもに対してポジティブな言葉かけを意識した取り組みを一週間おこなうことによって、以下の変化がみられるか検証する
 1. 子どもをほめることに対する保護者の態度がよりポジティブに変化する
 2. 子どもとの関係性や子どもの動機づけにより良い影響を与える

研究の方法

- 9月25日の授業参観後、保護者を対象とした教育講演「子どものやる気を高める親の関わり方」を実施
- 講演の中で、保護者が1週間子どもにポジティブフィードバックを意識的におこなう「子育て声かけチャレンジ活動」について説明
- 一週間、各家庭で毎日活動カードに自己評価を記録

実施スケジュール

1. 保護者アンケート(1回目) : 9月18日(金) ~ 9月24日(木)
2. 教育講演会 : 2年9月25日(金) 6限目
3. 子育て声かけチャレンジ活動 : 9月26日(土) ~ 10月2日(金)
4. 保護者アンケート(2回目) : 10月3日(土) ~ 10月9日(金)

保護者アンケートの内容

- グーグルフォームを用いた無記名式のオンライン調査
- ほめへの態度尺度（高崎,2015）: チャレンジ活動の前と後の2回実施。22項目。5段階評価。4つの下位尺度から構成。
- ほめの効果尺度（高崎,2015）: チャレンジ週間の後に実施。15項目。5段階評価。

声かけチャレンジ活動の内容

- 以下の4項目について、一週間、毎日3段階で自己評価を記録

褒め上手

- ・ ポジティブな声かけ(例:ありがとう、助かるわ、お疲れ様、よくがんばっているね)

整え上手

- ・ 子どもが勉強に集中しやすい状況を作る(例:勉強している時はテレビを消す)

伝え上手

- ・ 子どもに注意をするときは、「わたしメッセージ」で親の考えや気持ちを伝える

聴き上手

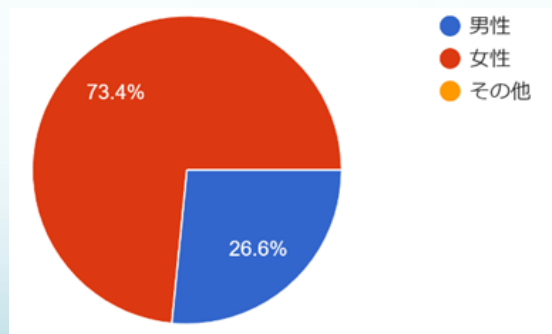
- ・ 子どもが話をするとき、親は子どもの目をよく見て、うなずきながら、聴く

結果：分析対象者

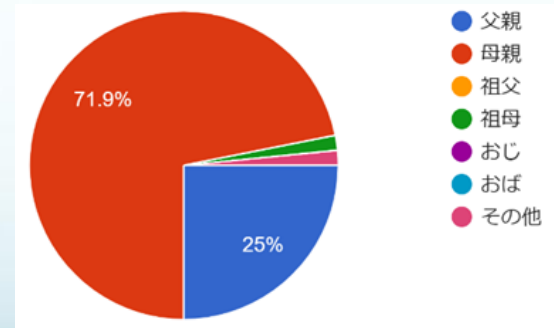
- 1回目と2回目の調査に回答した49名のデータを分析対象とした

回答者について

1.性別比



2.子供との関係

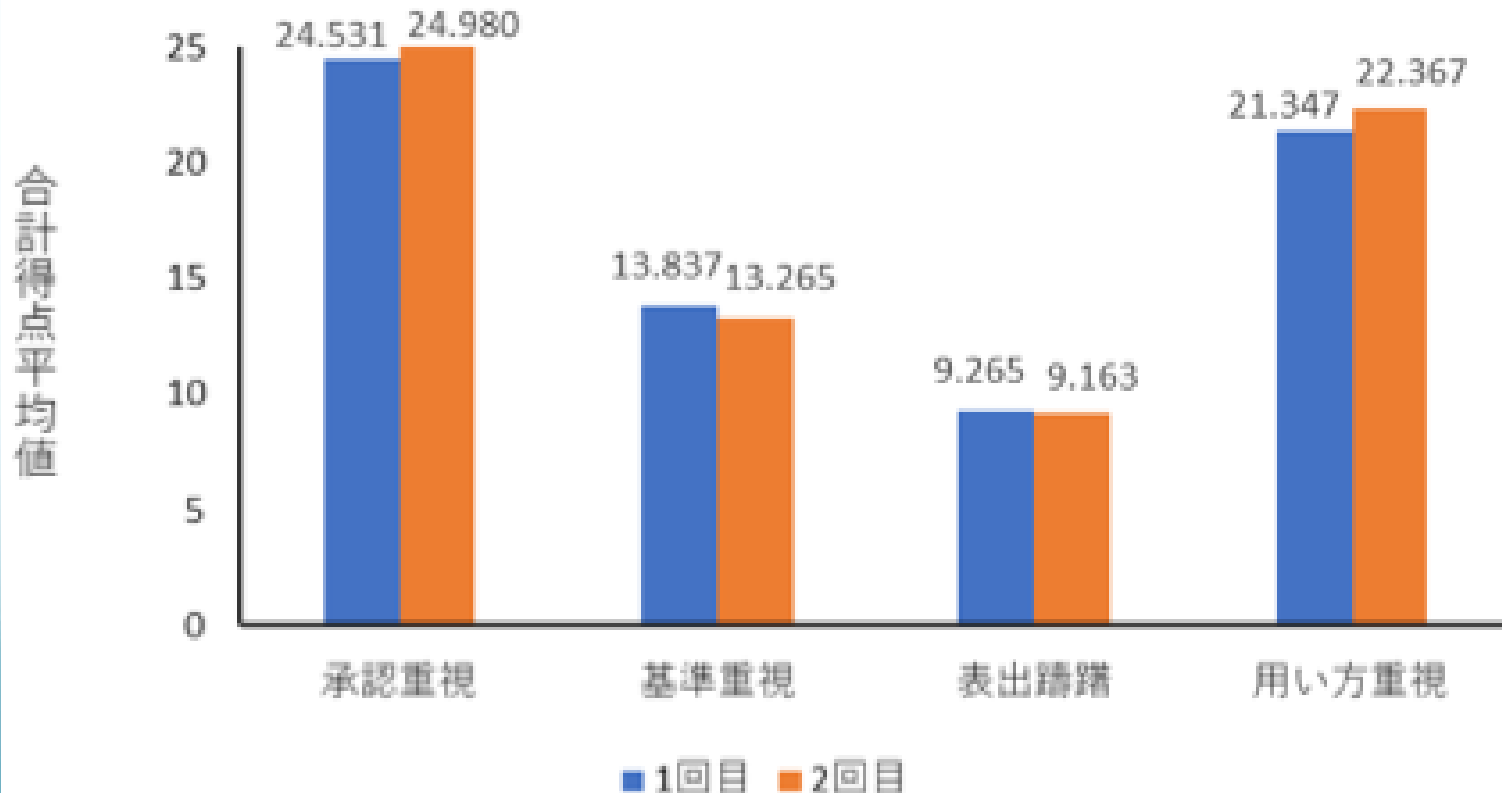


おば・その他：各1.6%

結果：ほめの態度尺度

- 4つの下位尺度ごとに合計得点を算出

ほめの態度尺度の平均値の変化



ほめへの態度尺度の下位尺度

1. 承認重視: 相手を認めることで感じる効果に着目する態度
2. 基準重視: ほめることについてあるべき姿や基準を重要視する態度
3. 表出躊躇: 褒めることを伝えることについてためらいがあるかを示す態度
4. 用い方重視: ほめることの効果を高めるためにタイミングやその方法を調整することを重視する態度

ほめへの態度 「承認重視」に変化

- ほめることは相手への成長につながり、その効果をより期待するという「承認重視」の合計得点の平均値は、1回目よりも2回目の方が上昇していた
 - 子どもをほめることによって子どものよい変化を感じており、「ほめ」についてよりポジティブな意識を持った保護者が多かった

ほめへの態度 「用い方重視」に変化

- ほめの効果を高めるために褒め方を調整する「用い方重視」の合計得点の平均値は、1回目よりも2回目の方が上昇していた

→ チャレンジ活動を通して、一律にほめるだけでなく、そのタイミングや頻度など、臨機応変に変えていく必要性を感じた保護者が多かった

ほめへの ネガティブな態度に変化

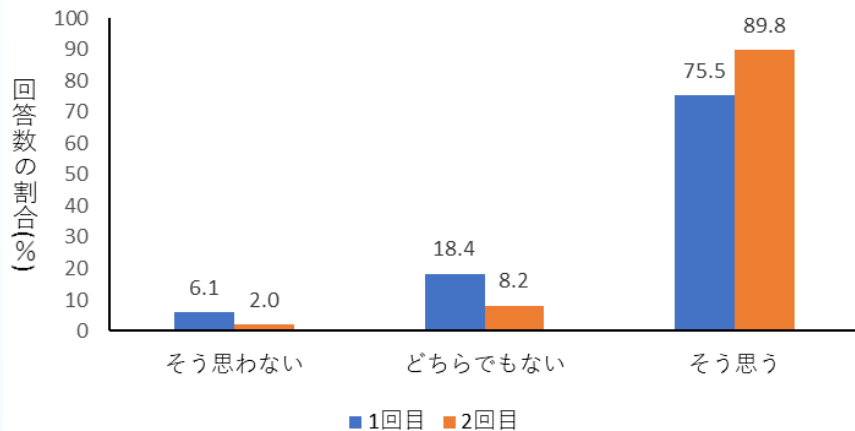
以下の下位尺度では減少傾向が見られた

- 「基準重視」:一定の基準に達したらほめるとような、ほめる行為を厳格に行う態度
- 「表出躊躇」:ほめることについて自信が持てずに躊躇する態度

→ほめることについてのネガティブな態度が軽減され、より積極的にほめる姿勢が強まった

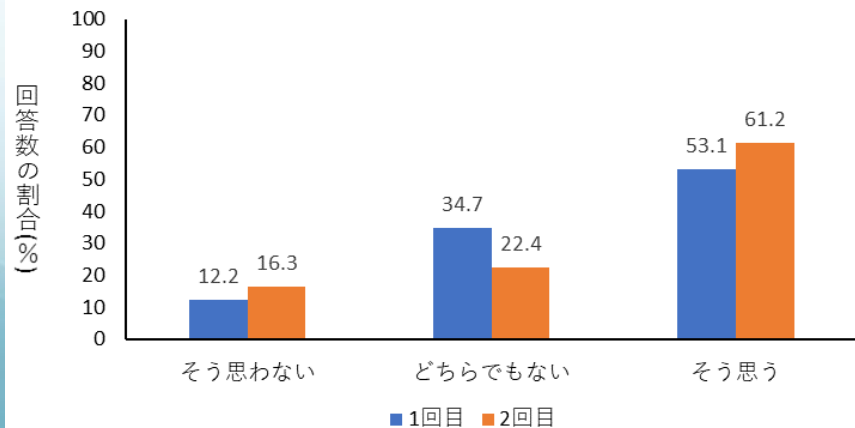
特に変化の大きかった項目

5.ほめることは、人間関係の潤滑油になる

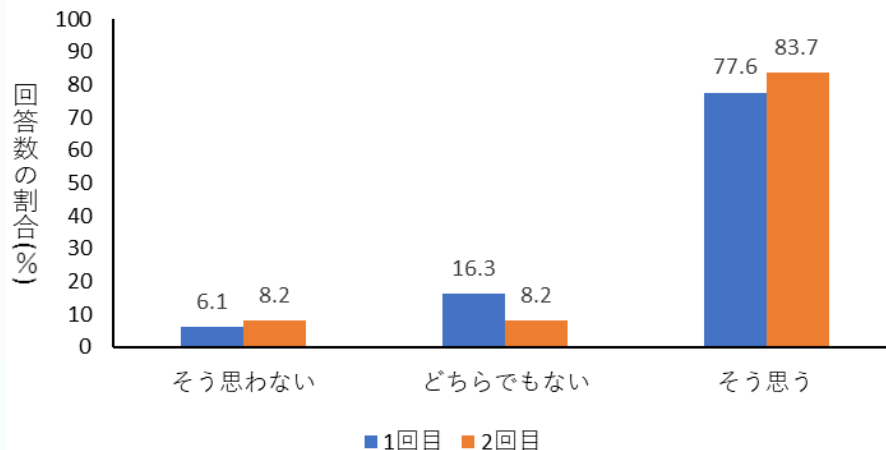


子どもによい効果を与えられるという意識や、子どもとの関係が良好になると感じた保護者の割合が増加した

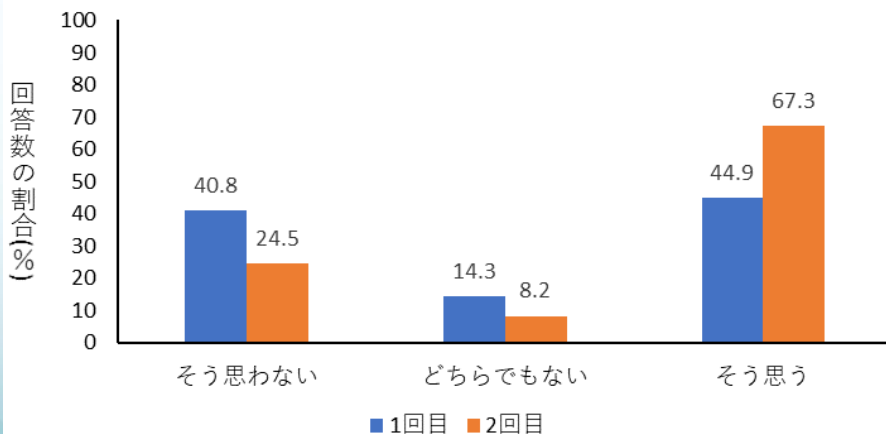
6.目についた事は何でも、どんどんほめる方がいいと思う



7.ほめるためには、相手を良く知る必要がある



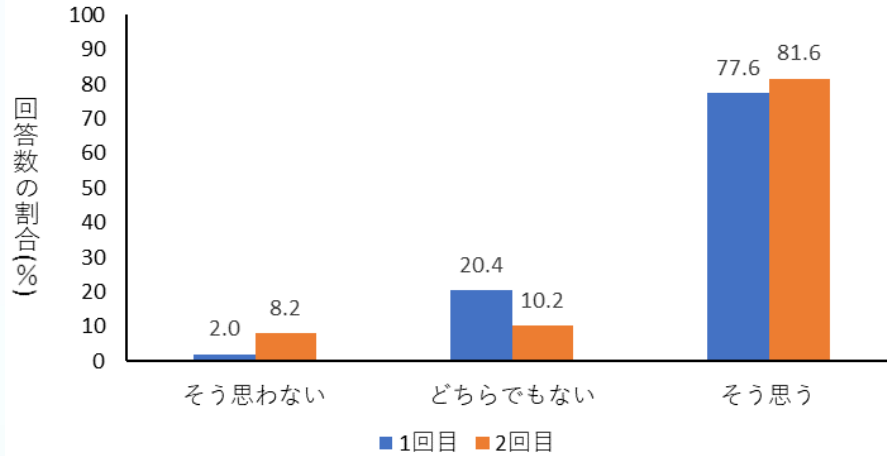
8.ほめるタイミングが一番むずかしい



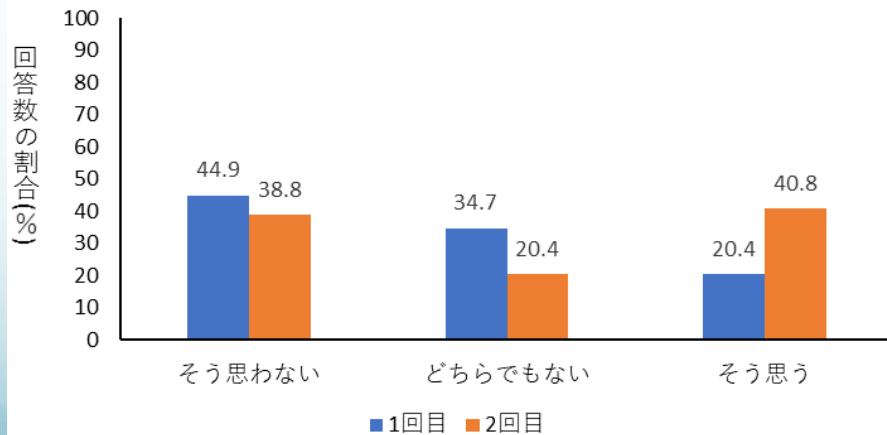
ほめるタイミングの難しさ
や、ほめるために相手をよ
り知ることの大切さを感じ
た保護者が多く見られた

→ 保護者自身の新たな
気づきにつながったことを
示唆

20.ほめるタイミングによって、効果が変わると思う



2.安易にほめるのは逆効果だ

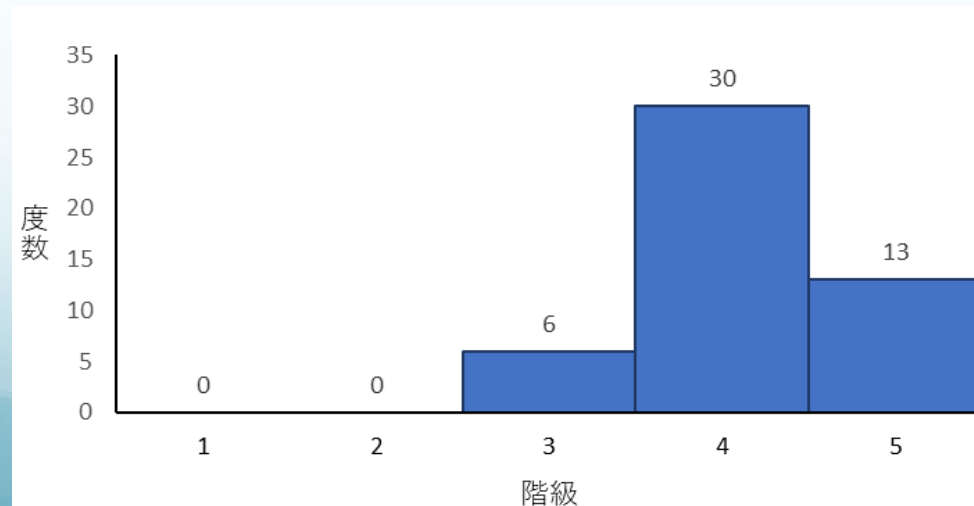


ほめるという行為は安易にすべきではなく、子どもをしっかりと見て、ほめるタイミングやほめる内容などを吟味することの重要性について再認識した保護者が増えた

結果：ほめの効果尺度

- 平均得点の度数分布の結果から、49名のうち、43名が効果があったと回答

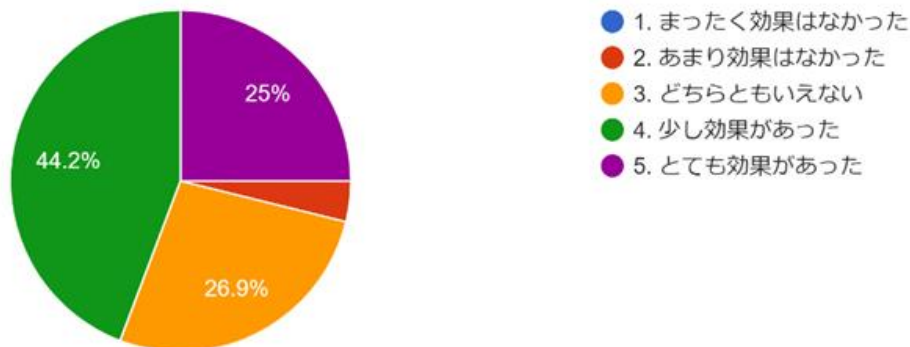
→チャレンジ週間を通して、多くの保護者がほめることについてポジティブな効果を感じていた



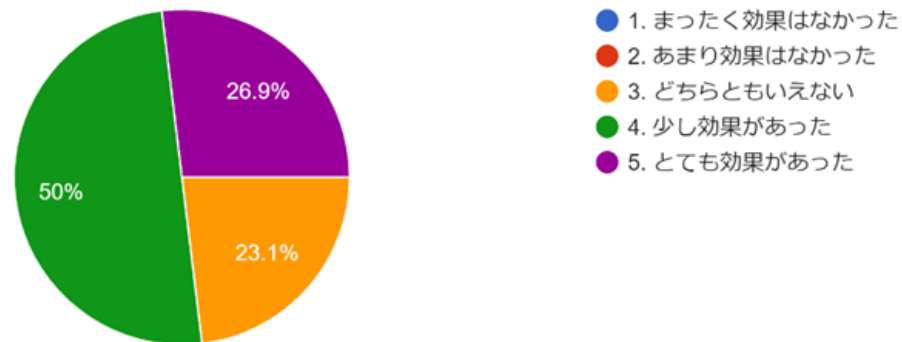
- 1「まったく効果はなかった」
- 2「あまり効果はなかった」
- 3「どちらともいえない」
- 4「少し効果があった」
- 5「とても効果があった」

特にポジティブな効果が みられた項目

5.子どもとのいい関係を作れた

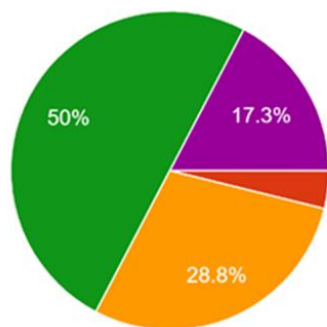


6.子どもの気分を良くすることができた



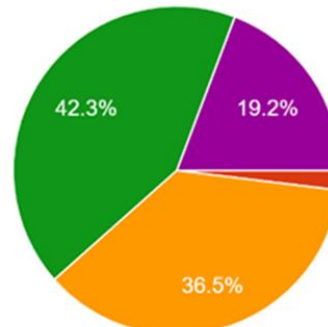
子どもとのコミュニケーションがうまくとれ、子どもとの関係性がよくなったことを多くの保護者が報告した

8. 子どもをやる気にさせることができた



- 1. まったく効果はなかった
- 2. あまり効果はなかった
- 3. どちらともいえない
- 4. 少し効果があった
- 5. とても効果があった

9. 子どもに自信をつけさせることができた



- 1. まったく効果はなかった
- 2. あまり効果はなかった
| 3. どちらともいえない | 36.5% |
| 4. 少し効果があった | 42.3% |
| 5. とても効果があった | 19.2% |

ほめることによって子どもの自信ややる気が高まり、子どもの内発的な動機づけにつながった効果があったことを多くの保護者が報告した

まとめ

- 「子育て声かけチャレンジ活動」に取り組んだ保護者には、以下のような変化が認められた
 1. 子どもをほめることに対する保護者の態度がよりポジティブに変化した
 2. 子どもとの関係性や子どもの動機づけにより良い影響を与えた
 3. 一方、ほめるタイミングや頻度など、ほめる手法について改めて難しさを感じた